

進路だより

発行：平成28年1月8日

1 ～卒業生による進路だより～

【関西大学人間健康学部人間健康学科】 岸田紗依

- ① 私はこの4月から関西大学人間健康学部に通っています。人間健康学部は関大の本キャンパスにあるのではなく堺キャンパスにある唯一の学部で1学年約360人と少ないですが、学部の同期や先輩と仲良くなる機会が多いことや教授と会話しやすいことが利点です。堺キャンパスにはほとんど部活がありませんが、本キャンパスまで行って部活をしている人が多く、スポーツ好きで明るくノリの良い友達ばかりです。大学に行くのが毎日楽しみになること間違いありません！
- ② 人間健康学部は主にスポーツ、健康、福祉、ユーモアについて学ぶことができます。また、この学部では保健体育の教員、スポーツ指導者、社会福祉士などの免許をとることができます。
- ③ 入学してから半年が経ちましたが、毎日楽しくて関大に入ったことを後悔する日はありません。特に教職の実技の授業や体育ではグループで協力し最後にはすごい上達を見せたり、演技を成功させ盛り上げられます。私はサークルではなく体育会の陸上ホッケー部に所属しています。大学にはマイナーなスポーツもたくさんあるので、初心者でも入りやすいです。また関西大学の体育会は“KAISERS”という名前がついていて、全ての部活が一気となって強くなって行くために研修や合宿などが行われます。関大に入学したらぜひKAISERSの一員になってほしいです。

【同志社大学経済学部経済学科】 埴下花菜

- ① キャンパスがとても綺麗で、施設が充実しています。大学の規模が大きいため日本各地から学生が集まってきていて、個性豊かな友達がたくさんできます！主に文系学部がある今出川キャンパスは京都の中心に位置していて、古都京都を感じることができます。主に理系学部がある京田辺キャンパスは、敷地が広く、グラウンドやホールなどの施設が充実していて、体育会の活動などを充分に行える環境にあります。
- ② 同志社の経済学部は、学科が一つしかなく、経済学科1学年900人弱の大所帯であるということが他の学部との違いです。経済科目の授業は、分かりやすくいうと、現代社会の授業をより掘り下げているイメージです。需要と供給について、家計・政府・企業の関係、インフレ・デフレについて、税金について、アメリカの大統領の経済思想、経済学の歴史、などここに挙げたのは一部ですが、とても広い範囲を学ぶことができます。

また、1回生の基礎演習という科目では、プレゼンする方法について学びます。これはKobeプロジェクトで身に着けた力を大学で発揮する最初の間だと思います！

- ③ 正直なところ、高校生の時に想像していたよりも、大学生は忙しいです！京都までの通学に時間がかかるという事もありますが、普段の授業に加え、時々行われる小テストや発表等の準備、さらにはサークル活動、アルバイトなどもしていると、自然と日々の予定が埋まっていきます。

小学校からずっと一緒に学校生活を送ってきた附属生にとっては、新しい環境でちゃんと友達ができるのかどうかという不安は大きいと思いますが、実際、まわりも同じ気持ちでいる人が多いので、その心配はいりません！学部やサークル、バイト先で新たな人脈が増え、充実した毎日を送ることができます！

【立命館大学産業社会学部人間福祉学科】 土岐遥香

- ① 私は立命館大学に通っていますが、立命館のいいところは、一つ目は、多くの生徒が地方から来ていて、7割は下宿生徒だということだと思います！ずっと同じ地域にいた私にとって、色々な県から来た人としゃべる機会はなかったのが、聞いたことのない方言や考え方も価値観も今までの友達とは違う人も居ます！その分新しいことをたくさん知れて、とても面白いです！下宿してる人が多いので何かあれば家に泊まらせてもらえるのも便利です。

二つ目は、立地的にはすごく不便ですが、毎日バスの中には色々な国からの観光客がいて、金閣寺、竜安寺に行って、京都を観光しに来ていることです。京都はこんなにも海外の人が来てくれる、日本の誇れる場所なんだと改めて感じられます。

立命館のキャンパスは大きく3つあって、衣笠キャンパス、大阪いばらきキャンパス、びわこ・くさつキャンパスに分かれています。

私の通ってる衣笠キャンパスは1番古い伝統あるキャンパスです。びわこ・くさつキャンパスは3つの中で一番大きく、理系や、スポーツ系の学部が集まっていて、大きいトラックやジムがあります。大阪いばらきキャンパスは去年できたキャンパスで、大学とは思えないくらい綺麗で、スタバもあるそうです！！

- ② 私は産業社会学部人間福祉学科に所属しています。産業社会学部は5つの専攻に分かれていて、現代社会学科、メディア学科、スポーツ学科、子ども学科、人間福祉学科です。産業社会学部というのは、いわゆる、社会学部で、今ということ学ぶことができます。他の学部と違うのは、将来やりたいことがはっきりしていない人なども授業を通し多くのことを学べ、興味のあることを見つけることができることだと思います。わたしの所属している人間福祉学科について少し紹介します。人間福祉学科では、社会が産み出す人々の生活困難を緩和・解決し、人権、発達、幸福を守り発展させるための諸科学を学び、研究します。社会という枠組みから包括的にアプローチする「福祉社会」領域と、人に着目し、その発達や精神、関係性の中から福祉に迫る「人間発達」領域があります。社会福祉士といった専門資格を取得することもできます。このように、福祉の専門的な知識も学びますが、それだけではなく、社会のことはもちろん、歴史、憲法、科学、スポーツ、言語、など社会にかかわる、幅広い分野を学べます。

そして、産業社会学のもう一つの良い点は、2回生以降になると、どの専攻に所属していても、5つの専攻の授業を取れるということです。そして、ダブルメジャーという制度で自分の専攻以外の、専攻を一つ選び、ゼミ選択をするときに、二つの専攻の中から自分のやりたいことをしているゼミを選ぶことができます。つまり、産業社会学部では、自分のやりたいことを真剣に考えることができるということです。

- ③ 大学は、学生が自由に過ごしている場所だと入学してから日々感じます。先生は授業でしか会うことはありません。すべて自己責任です。その分、自分のしたいことを考えてできると思います！

わたしはダンスサークルに入って週2回大学で活動して、週4回バイトをしています。サークルや部活に入ることは、たくさんの先輩、仲間に出会え人脈が増えることだと思います！大学には高校とは違い、サークルや部活がたくさんあるので、自分のしたいものが見つかると思います。

バイトでは初めて自分でお金を稼ぐことの楽しさや大変さがわかりました。でも、自分で稼いだお金で自分の好きなものが買えるのはとても気分がいいです！

大学生はたくさん時間があります！だから考えればしたいことをなんでもできると思います。学生だけで旅行や合宿もできるし、今までよりずっと行動範囲が広がります！！

みなさん、今は勉強で大変な時期だと思いますが、大学での生活を想像して、最後まで自分の目標を諦めずに頑張ってください！応援しています！！